



落ちない!
車輪キャンペーン



大型車の車輪脱落事故0へ

正しい作業が、防ぐ事故。

徹底しよう! 車輪脱落を防ぐ、4つのルール

お

きまりのトルクで
きちんと締め付けて



ち

やんと増し締め
交換後



規定のトルクで確実な締め付けを

締付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と平面座で締め付けるISO方式があります。「規定の締付けトルク」で確実に締め付けます。

*ホイールナットの締め付け不足、締め忘れ防止のため、ナット締め付け作業時(終了後)、「規定の締付けトルク」で確実に締め付けたことを確認するよう、お願いします。



50~100km走行後に、しっかり増し締めを

締め付け後は初期なじみによってホイールナットの締付け力が低下。50~100km走行後を目安に、増し締めしてください。

ねじの締付け方向を確かめて締め付け。



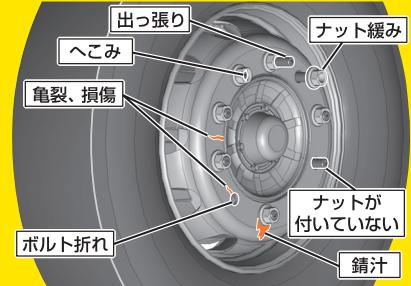
な

(ナット)
つと見て ボルト触って
さあ出発!



一日一回の
日常点検を

運行前にホイールボルト、ナットを目で見てさわって点検してください。異常を発見したらすぐ整備工場へ。



い

や待てよ? ボルトと
ナットは適正か?



ホイールに適合したボルト、ナットを

スチールホイール、アルミホイールの履き替えには、それぞれ適合するホイールボルト、ナットの使用が必要です。必ずご確認ください。

*JIS方式では、アルミホイール(スチール)用のホイールボルト、ナットで、スチールホイール(アルミ)は履けません! ISO方式では、スチールホイール用ホイールボルトで、アルミホイールは履けません!



左後輪に注意!

車輪脱落の多くが、気がつきにくい「左後輪」で発生しています。左後輪の点検は重点的に行ってください。



ホイールやホイールボルトの錆に注意!

ホイールやホイールボルト、ナットの著しい錆によると思われる車輪脱落が発生しています。著しい錆のあるホイールやホイールボルト、ナットは、交換してください。

錆びたボルト・ナット

